

2020年1月23日  
東日本旅客鉄道株式会社  
横浜支社

## JR横浜駅直結 JR横浜タワーが2020年5月30日(土)開業 ～JR横浜鶴屋町ビルは、6月5日(金)に開業～

- JR東日本グループは、グループ経営ビジョン「変革 2027」のもと、「ヒトを起点とした価値・サービスの創造」を通し、住んで、訪れて、働いて良かったと感じていただける「くらしづくり(まちづくり)」の実現に取り組んでいます。
- JR横浜タワーの商業施設「NEWoMan横浜」、「CIAL横浜」、「T・ジョイ横浜」が2020年5月30日(土)に開業します。また同タワー開業により、横浜駅周辺の回遊性を高める近隣各所との接続や、待ち合わせや憩いの場となるオープンスペースなどの施設も使用開始となります。
- JR横浜鶴屋町ビルでは、宿泊特化型ホテル「JR東日本ホテルメッツ 横浜」および商業施設「CIAL横浜ANNEX」が2020年6月5日(金)にグランドオープンします。また同日より、フィットネスクラブ「ジェクサー・フィットネス&スパ 横浜」では、お客さま向け内覧会を開始します。なお、駐車場・駐輪場は4月中旬に営業を開始します。

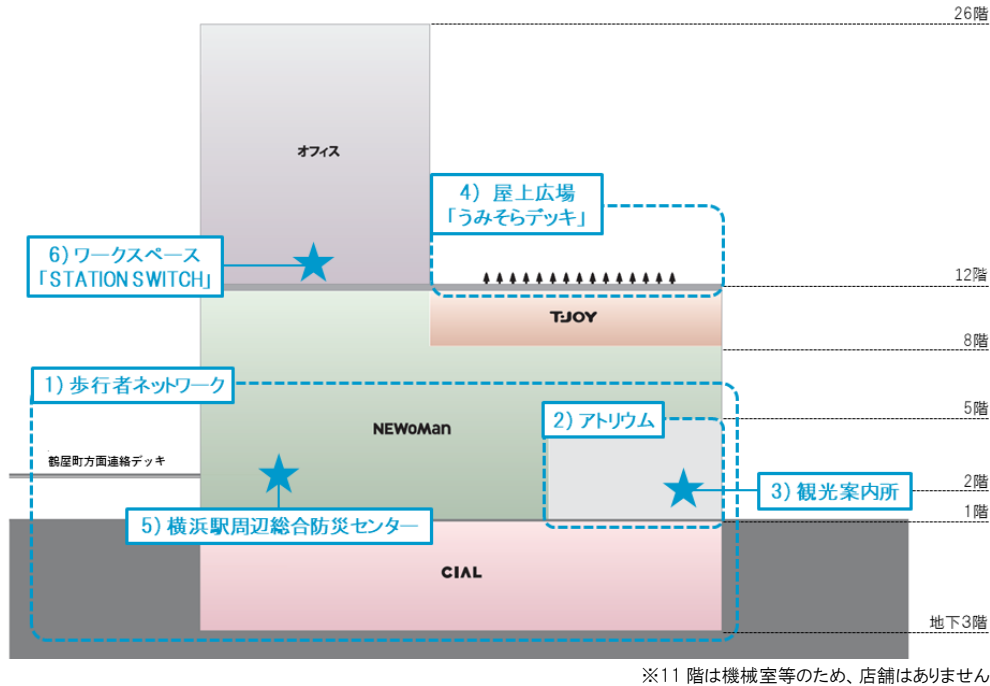


# 1. JR横浜タワー

JR横浜タワーでは、商業施設「NEWoMan横浜」、「CIAL横浜」、「T・ジョイ横浜」が2020年5月30日(土)に開業します。

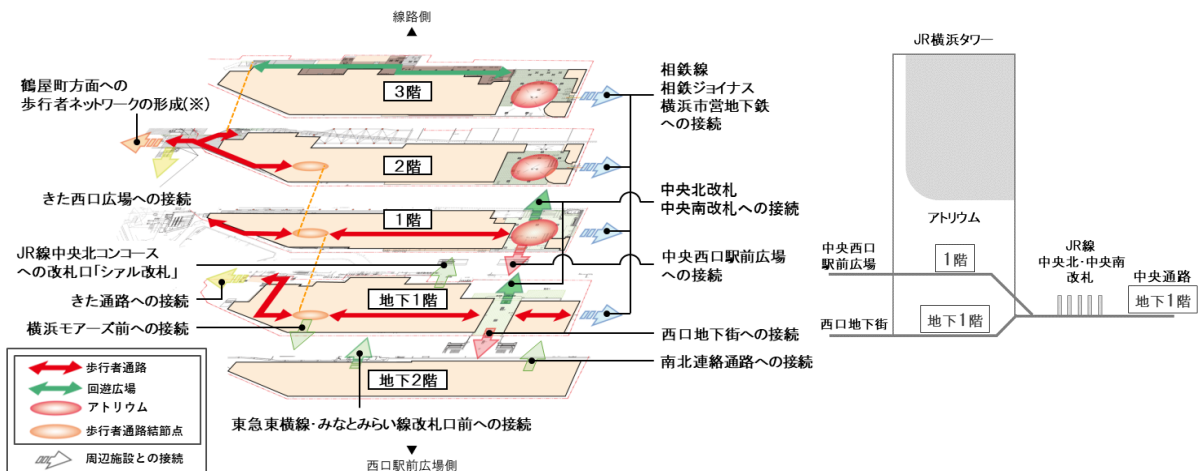
開業に併せて、横浜駅周辺の回遊性を高める近隣各所との接続や、待ち合わせや憩いの場となる複数のオープンスペースのほか、官民連携した「観光案内所」・「横浜駅周辺総合防災センター」といった施設も、2020年5月30日(土)に使用開始します。

なお、オフィスは2020年4月以降、順次稼働します。また、働き方の変化に対応したワークスペース「STATION SWITCH」を設置します。



## 1) 歩行者ネットワーク

JR横浜タワーと近隣各所とを繋ぐことで、横浜駅とまちの回遊性を高めます。主な経路としては、①鉄道駅(東急東横線・みなとみらい線改札口前(地下2階))、②近隣施設(相鉄ジョイナス(地下1階～地上3階))、横浜モアーズ前(地下1階))、③鶴屋町方面(きた西口広場)などがあり、スムーズな移動を実現します。またJR線中央北コンコースから地下1階に繋がる新たな改札として「シアル改札」を設置します。

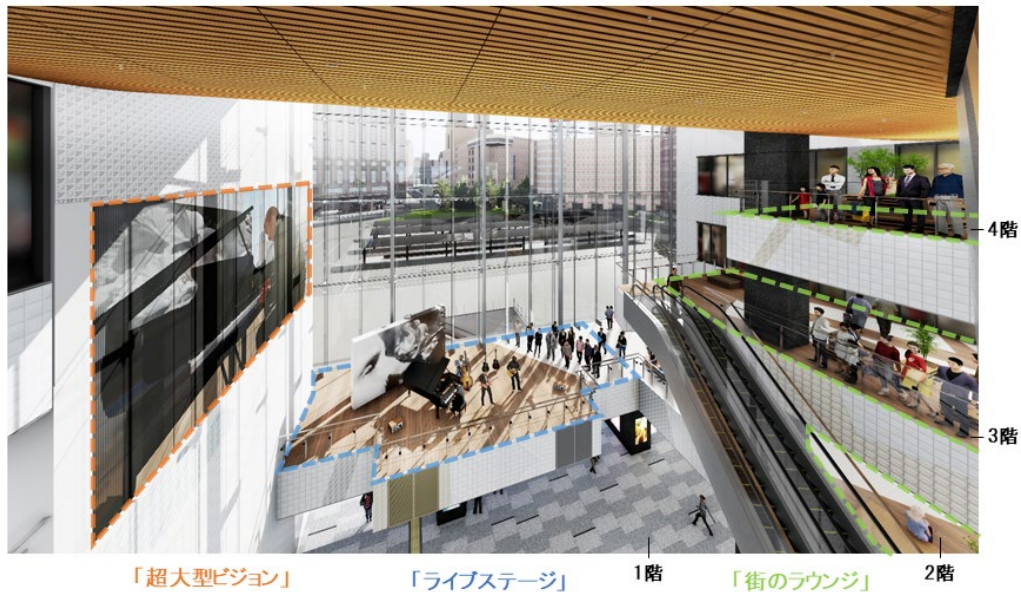


※鶴屋町方面への歩行者ネットワークを形成する、JR横浜タワーとJR横浜鶴屋町ビルを繋ぐデッキは一部を別事業者にて整備する計画で、開通時期は未定になります。

## 2) アトリウム (JR横浜タワー 1~4 階)

横浜駅の新しい顔となる、4 層吹き抜けの明るく開放的な空間です。歩行者ネットワークの起点となり、様々な場所にアクセスできます。

2 階はライブやトークショーなどのイベントが行える約 100 m<sup>2</sup>の「ライブステージ」を整備します。また、2~4 階はコンコースやステージ、駅を出入りする電車を見下ろせる「街のラウンジ」としてご利用いただけます。壁面には約 5m×9mの超大型ビジョンを設置し、プロモーションなどで利用するほか、ステージで行われるイベントと連動し、ライブ感のある体験を提供します。



## 3) 観光案内所 (JR横浜タワー 2階)

アトリウムの 2 階には、快適に観光情報を集めることのできる観光案内所を横浜市が設置します。案内所前にあるラウンジと一体で利用することで、ゆったり情報を集め、その場で行先を相談することができます。外国人観光客にも対応し、日本政府観光局が認定する制度において「カテゴリー3※」の案内所となる予定で、常時3か国語以上での案内を実施します。



※日本政府観光局では、外国人観光案内所の認定制度を運用しています。認定区分の1つであるカテゴリー3の主な基準は次の通りです。

カテゴリー3: 常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。

全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fiあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。

#### 4) 屋上広場「うみそらデッキ」(JR横浜タワー 12階)

横浜港や横浜ベイブリッジが一望できる屋上広場です。ベンチやテーブル、カウンターなどを配置し、幅広い世代が憩える場所です。また桜や紅葉などの木々を植えることで、環境に優しいまちづくりを行います。広場のアイコンとして「YOKOHAMA」の文字を象ったオブジェを設置し、横浜駅の新たなシンボルとなる場所を目指します。



## 5) 横浜駅周辺総合防災センター(JR横浜タワー 3階)

災害に強い安全なまちづくりを目指して、大規模災害発生時に、横浜市が「横浜駅周辺総合防災センター」を開設します。横浜市の災害対策本部やJR横浜タワーの防災センターと連携し、横浜駅周辺の混乱防止や来街者の安全を確保するための活動拠点となります。

施設の規模は約 200 m<sup>2</sup>で、平時には、横浜駅周辺の防災に関する会議や訓練などで使用し、関係者の連携や協力体制の確保にも寄与します。

また、JR横浜タワーでは、館内のスペースを利用し、大規模災害発生時に備え、滞留者 10,000 人・帰宅困難者 3,000 人の受け入れ体制を整備します。

## 6) ワークスペース「STATION SWITCH (商標出願中)」(JR横浜タワー 12・13 階)

働き方の変化に対応したワークスペースとして、法人や個人を対象とした会員制の個室、ブース席、ラウンジ席などを設けます。

「STATION SWITCH」の名称には、気軽に立ち寄る駅で法人や個人に新しい「働き方」や「生き方」の気づきを得てほしいとの願いを込めています。

STATION  
SWITCH

ブランドロゴ(商標出願中)



12 階 ラウンジ



13 階 個室

## 2. JR横浜鶴屋町ビル

JR横浜鶴屋町ビルでは、宿泊特化型ホテル「JR東日本ホテルメッツ 横浜」および商業施設「CIAL横浜ANNEX」が2020年6月5日(金)にグランドオープンします。「CIAL横浜ANNEX」は、一部店舗において、グランドオープン前の先行営業を予定しています。また同日より、フィットネスクラブ「ジェクサー・フィットネス&スパ 横浜」では、お客さま向け内覧会をスタートし、6月17日(水)より開業します。

なお先行して、2020年4月1日(水)に保育所が開所し、4月中旬に駐車場・駐輪場「JR横浜パーキング」が営業開始します。



北側 外観



3階 ラウンジ前店舗

## <参考> JR横浜タワー・JR横浜鶴屋町ビルの概要

### ■ 配置図

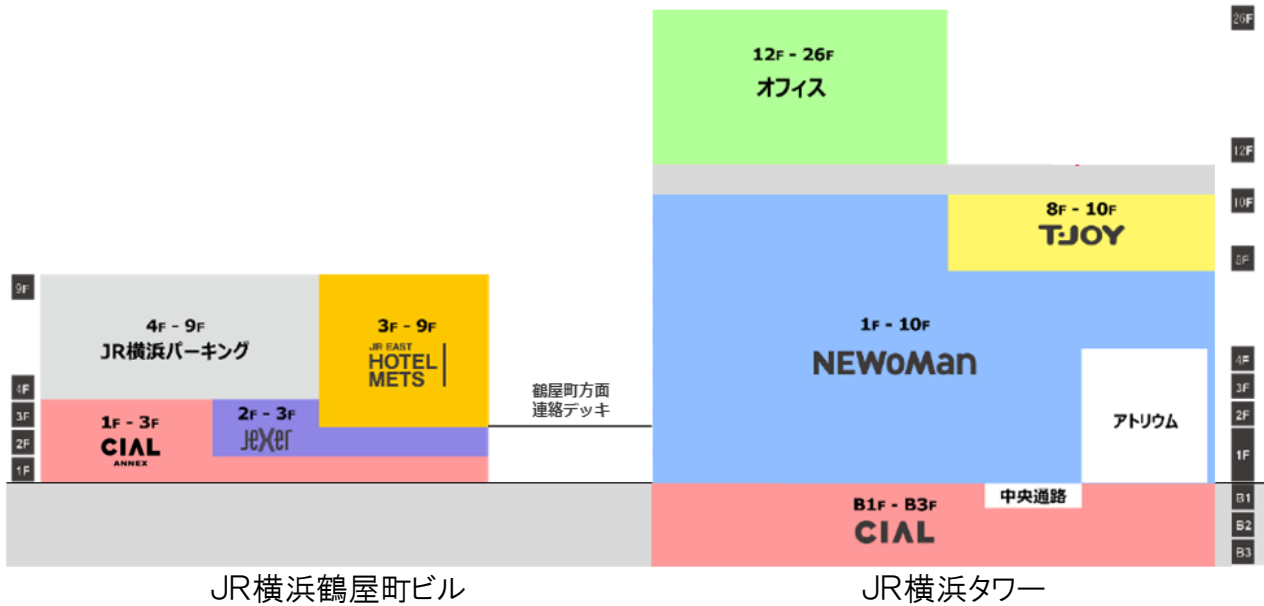


※鶴屋町方面への歩行者ネットワークを形成する、JR横浜タワーとJR横浜鶴屋町ビルを繋ぐデッキは一部を別事業者にて整備する計画で、開通時期は未定になります。

### ■ 各施設開業スケジュール

		4月	5月	6月
JR横浜タワー	オフィス	4月以降順次稼働		
	T・ジョイ横浜			5月30日開業
	NEWoMan横浜			5月30日開業
	CIAL横浜			5月30日開業
JR横浜鶴屋町ビル	JR横浜パーキング	4月中旬営業開始		
	JR東日本ホテルメッツ横浜			6月5日開業
	保育所	4月1日開所		
	ジェクサー・フィットネス&スパ 横浜			6月5日～内覧会 6月17日開業
	CIAL横浜ANNEX		一部先行開業	6月5日グランドオープン

## ■ 断面図



※上図は模式図であり縦横等の比率は実際とは異なります。  
 ※JR横濱タワーの11階は機械室等のため、店舗はありません。

## ■ 各施設一覧

建物名称	JR横濱鶴屋町ビル	JR横濱タワー
フロア構成 (運営会社)	4階-9階: JR横濱パーキング (株)横浜ステーションビル 3階-9階: JR東日本ホテルメッツ 横浜 (日本ホテル株) 2階-3階: ジェクサー・フィットネス&スパ 横浜 (JR東日本スポーツ株) 1階-3階: CIAL横浜ANNEX (株)横浜ステーションビル ※3階に保育所、 1階に駐輪場・自動二輪駐輪場も整備します。	12階-26階: オフィス、STATION SWITCH (商標出願中) (株)ジェアール東日本ビルディング 8階-10階: T・ジョイ横浜 (株)ティ・ジョイ 1階-10階: NEWoMan横浜 (株)ルミネ 地下3階-地下1階: CIAL横浜 (株)横浜ステーションビル
延床面積	約 31,500 m <sup>2</sup>	約 98,000 m <sup>2</sup>
階数	地上 9 階	地上 26 階、地下 3 階